

西特だより

ホームページ



Instagram



電話053(436)1370

子どもたちの「分かった!」「できた!」を支えるICT教育



国語、算数、音楽や図工、自立活動…子どもたちは日々の学習の中で多くのことを考え、体験し、そうして得た学びを成長へとつなげています。そんな子どもたちの主体的な学びを支え、より楽しく、より深く学習するために、様々な場面でタブレット端末や電子黒板、スイッチ等のICT機器が活躍しています。今回の西特だよりでは、子どもたちの学びの姿を通して、本校のICT教育について御紹介します。

<「やりたい!」を伝える日常生活の時間>

本校では、授業の中で、教師が子どもたちに確認したり、選択したりすることを促す場面が多くあります。気持ちの伝え方には色々な方法がありますが、この授業ではタブレット端末を活用しました。

児童生徒に合わせてイラストや写真の数、大きさを工夫し、手の動きや身体の動きやすさに合わせて端末を置く場所を工夫しています。優しく触れると端末が反応したり、写真を選択した際に音が鳴ったりすることで、楽しみながら活動する姿が見られました。

気持ちが伝わるうれしさや選ぶ楽しさを味わいながら、笑顔で授業に取り組むことができました。



<指でタッチ! 素敵な音楽の世界へようこそ!>

タブレット端末を用いた楽器演奏の授業です。

楽器を持ったり、力を加えたりする必要がなく、手指の動きのみで楽しむことができる教材です。児童生徒が活動しやすいようにタブレット端末を置き、手指で画面に軽く触れて演奏します。自分なりのペースを大切にしながら、指で押す、引っかく等することで素敵な音楽の世界を楽しむことができ、表現することができます。ますます大好きになりました。



優しく画面に触れることで、楽器の演奏ができます。
自分のペースで音楽を楽しめるって、素敵ですね!

アンケート

「西特だより」についての御意見・御感想など、右の二次元コードよりお寄せいただけると嬉しいです。



☆小学部☆ 一人ひとりが活躍、スポーツフェスティバル

学習グループごとに、スポーツフェスティバルを行いました。

低学年は、キャスターカーや大型遊具に乗り、動きや揺れを感じました。高学年は、玉入れや的に向けてボールを転がすことなどの活動を友達と一緒に行いました。また、「リアル野球盤」を行ったグループでは、台に置かれたボールをよく見てバットを振り、的に当てて得点を競いました。

見学している子どもたちは、大きな声で声援を送ったり応援グッズを使ったりして盛り上がっていました。



☆中学部☆ 保護者と一緒にゲートゴルフ！

スポーツを通して、親睦を深めることを目的に、学年ごとゲートゴルフを行いました。生徒たちはキャスター付きのスティックを使用したり、振り子式の補助具を使用したりして自分なりの方法でボールを転がし、友達や保護者と交流を楽しみました。

最初の種目、学年対抗戦では、生徒と保護者がタッグを組み勝敗を競いました。優勝は1年生でした。

次の種目は、生徒対保護者で対戦しました。生徒たちは作成した応援グッズで仲間のプレーを応援して盛り上がりました。



☆高等部☆ 白熱大接戦のスポーツフェスティバル！

三つの競技グループに分かれて行われたスポーツフェスティバル。課題をこなして友達にリレーをしていく「課題にチャレンジリレー」、それぞれの方法でボールを転がしてピンを倒す「Ⅲ類ボウル」、自分達でルールを考えて多くのピンをねらって倒す「西特モルック」。日頃の学習の成果を存分に発揮しながら、競技に取り組みました。赤組青組、一進一退の得点経過…。結果はなんと同点！赤青仲良く優勝トロフィーと優勝旗を手にすることができました。



☆訪問教育☆ 笑顔いっぱいリトミック！～訪問の集い～



訪問教育は各家庭や施設で授業を行っていますが、集団学習として、年に2回学校に集まって「訪問の集い」を実施しています。1回目の集いには、3人の児童生徒と保護者の方が参加をしました。今回は、音楽処「ベルの木」の外部講師の方々をお招きして、リトミックを行いました。ピアノや三味線の演奏を聞いたり、フィンガーシンバルやカバサなどのいろいろな楽器に触れたりして、笑顔いっぱいの時間を過ごすことができました。

